

発行者

久宝寺小学校区まちづくり協議会

会長 笠原 彰

久宝寺地区福祉委員会

委員長 佐野 公一

八尾市北久宝寺2丁目1番1号

電話 072-922-2233

久宝寺地区



許麻の里

沢辺に生ふる

かきつばた

君か手毎に

水やかかさん

まちかど美化特集



〈寺内町遠望〉

今や、その「りんご並木」は飯田市に定着し、町は「りんご並木のまち」といわれるようになり、町のシンボル・観光スポットにもなっています。時の校長はこう語っておられます。

「美しいのは子ども達だけではない。町の方々も、また、そこを通る人々も美しいのだ。私たちは長い間の夢を地に下した。」

いつまでも 心豊かに住み続けたいまち久宝寺!!
～いつも美しいまちかどで ころろ和む地域づくりを～

「まちかど美化」特集発行に当たって

「まちづくり」という言葉が行き渡り、各地でユニークな「まちづくり」が進められ、「活力のあるまちづくり」「魅力のあるまちづくり」の取り組みに、地域住民が参画して自主的な活動が展開されています。

久宝寺小学校区でも、「まちづくり」についての設立準備会を2010年に立ち上げ、2013年に「久宝寺小学校区まちづくり協議会」を設立して事業をスタートし、以降、「わがまち推進計画」を第Ⅰ期・第Ⅱ期と策定して取り組みを進めてきました。

本年2月には、引き続き、「久宝寺小学校区第Ⅲ期わがまち推進計画」を策定し、

- (1) ひとりも取り残さず、守り合う安全安心なまちづくり
- (2) いつも美しく 歴史的資源を大切にしたまちづくり
- (3) 未来を支える子ども達が、健やかに育つまちづくり
- (4) 子どもから高齢者まで世代を超えて、

笑顔があふれるまちづくり

- (5) みんながつながり、ささえ合いと参加のまちづくり
- の五つの目標を掲げ、"いつまでも 心豊かに住み続けたいまち久宝寺"のビジョン実現に向けて、第Ⅲ期の初年度に相応しい事業活動に取り組んでいます。

今号では、「目標(2)」の中から「まちかど美化推進と環境保全のまちづくり」を取り上げて特集しました。

◇まちづくりへの想い

「まちづくり」に触れる時、「長野県飯田市のりんご並木」のことが取り上げられます。

飯田市では、昭和22年に大火があり、その復興時に市の中心部に幅25mもの防火道路が作られました。

昭和27年夏、飯田東中学校校長の朝会の壇上でのお話しがきっかけとなり、生徒たちがつくる学友会で、その防火道路に「自分たちの手でりんご並木をつくろう」ということになり、市も苗木を手当てするなどのバックアップをし、計画は動き出しました。

枯れたり盗まれたり、駐車場にした方が、といったいくつもの試練があったものの、学友会が中心となり、剪定・土作り、施肥、清掃などの作業を自主的に担当し、地道に取り組みを継続したということです。

今や、その「りんご並木」は飯田市に定着し、町は「りんご並木のまち」といわれるようになり、町のシンボル・観光スポットにもなっています。

時の校長はこう語っておられます。

「美しいのは子ども達だけではない。町の方々も、また、そこを通る人々も美しいのだ。私たちは長い間の夢を地に下した。」

これは、子どもの美しい心と、市民の関心との交響楽である。美しいものは尊いものである。」(要約)

そこには、自分たちの生活している場を再認識し、地域に合った、住みやすく生き生きした魅力あるものにしていきたい、という気持ちが込められているようです。

このように、「まちづくり」は、そこに住んでいる人たちの、他人に任せておいては好ましい「まち」はできない、住民は、まちの「借家人」ではなく「オーナー」であるという考えや立場から、今日の動きとなっているのではないのでしょうか。

そして、この「動き」には、多様で異質の人々が、互いに他を認め合いながら、交流し合い共同して、創造的で、多様な生活を可能にするという姿勢が込められています。

そして、「まちづくり」には、「未来への夢を乗せるロマン」と、地道な日常的な気の長い努力“の一見相反する側面が求められることもうかがわれます。

◇環境まちづくりと取り組み

また、「まちづくり」は、そこに暮らす人々にとって、"うるおい"とか"ゆしさ"といった人間性に立った視点が基本になっています。

人は、繊細な感性をもち、細やかな心をもっています。人々は、誰しも美しさを感じ、ゆしさ、安らかさ、心地良さを望み、そうしたものから、心を楽しませ、見る人の心を和ませて魅力を感じ、愛情を育てるのではないのでしょうか。



中でも、人の心を和ませるものは、「みどりや水」といった自然環境にあると言われています。

また、昨今ではSDGsや地球環境や防災などの視点からも取り上げられています。

八尾市環境総合計画では、望ましい環境像として、「自然と共生した快適な環境をみんなでつくり 未来へつなぐまちやお」が設定され、「みどり豊かなまちづくり」を掲げています。

もとより、八尾市は、信貴・生駒の山並みにある高山など、その麓に広がる自然環境に恵まれたまちです。

中でも、私たちが暮らす久宝寺小学校区内には、東部には、春には桜が咲き誇り鯉が泳ぐ長瀬川や、中央には久宝寺寺内町を張り巡る水路、西部の府営の久宝寺緑地をはじめ、区域内には15か所の市営の公園や児童遊園が配置されています。

そして、それらは、身近に「みどりや水」に触れる場として、また、憩いや集いの場として私たちの生活の中で親しまれています。

「第Ⅲ期わがまち推進計画」では、このような環境をさらに日常的な生活に活かしていきたい、また、末永く後世に引き継いでいきたいという想いを込めて、「まちかど美

化推進と環境保全のまちづくり」を施策のひとつとして掲げ、

- ・地域・団体による清掃など美化活動の推進・支援
- ・身近に花やみどりを増やすための活動の支援
- ・公園や公共場所を大切に、集いの場として活かしたまちづくりの推進

・「ペットの飼い主」や「喫煙者」などを対象とした、生活マナーの向上に向けた啓発活動の実施、などを、その実現のための事業としています。

【引用：岩波新書「まちづくりの発想」田村 明著】

◇八尾市の支援事業

八尾市では、“みどりのまちをつくりましょう”を市民憲章のひとつとして掲げ、「八尾市緑化条例」のもと、市民の自主的・積極的な緑化運動への参加・協力を推進し、合わせて、身近なみどりの育成や確保に努めるべく緑化推進にむけた支援事業が整備されています。

次に、今後の皆さまのまちかど緑化にむけた地域活動のご参考のために、それらを紹介します。

〈まちかど緑化推進支援事業〉

身近に花や草木とふれあうため、公園や公共施設などで自主的に緑化活動を行う市民、または団体の活動に対し、花苗などを配布し、花と緑の潤いのあるまちづくりを進めています。

事業概要

- ・対象 象…継続して1年以上、定期的な花苗などの植え付けや日常的な散水、除草などの緑化活動を行うことができる市民、または 団体

- ・配布要件…一か所の設置が5㎡以上の花壇、または10個以上のプランター
- ・配布物品…肥料・用土・花苗・花種など、年間5万円以下で現物支給

- ・申込方法…申請書に必要事項を記入の上、魅力創造部農とみどりの振興課へ提出

〈想い出に記念樹を〉

出生、入学などの人生の区切り・想い出として、市民の皆さんに数種類の苗木を配布しています。

事業概要

- ・対象 象…市内在住者で、次の記念が生じた方

- 出生・入学（小学校、中学校）・結婚・新築・金婚・銀婚・還暦・古希・喜寿・米寿（年度により変更となる場合があります。）

- ・樹木の種類…キンモクセイ・ハナミズキ・サクラ・モミジ・ヤマボウシなど

- ・申込方法…申請書に必要事項を記入の上、魅力創造部農とみどりの振興課へ提出

（詳細は、八尾市ホームページをご参照ください）

【引用：八尾市「第3次八尾市地球温暖化対策

実行計画」（区域施策編）】



【府住の花壇】
お住いの有志が、季節の花を植えるなどの花壇の手入れをされ、花やみどりが来る人々を出迎え、道行く皆さんの目を楽しませています。



はなしょうぶ
【水路と花菖蒲】
地域の町会を中心に地域の有志が協力して、季節に応じて、かきつばたの根掃除や株分け・鉢植えなどの作業を行い、寺内町の見学スポットとなっている水路の保全と景観の維持の活動をされています。

「まちかど美化」の取り組み紹介
久宝寺では、地区の多くのまちかどで、地域の有志やグループによって、それぞれの実情に合わせて、環境美化の取り組みが進められています。今回は、それらの活動の中でも、まちかどでの「花やみどり」を守り、楽しむために取り組まれている例を紹介させていただきます。（順不同）なお、今回掲載させていただいた他にも、多くの皆さんが取り組みを進められていますが、紙面スペースや取材機会のため、一部の紹介にとどまりました。ご理解をいただきますようお願いいたします。



【グリーンマンションの花壇】
住民有志の方が園芸サークルとして、管理事務所の庭で、季節の花などの花づくりを日常的に楽しみ、住民皆さんの目を和ませています。



【東久宝寺1丁目公園】
近隣の3つの町会が協同して、1年毎に交替で公園の美化保全を担当し、プランターの花植えや水やり、低木の剪定、清掃などに取り組まれています。



【東久宝寺3丁目児童遊園】
近隣のふたつの町会の皆さんが、2週間毎木曜日に交替で、清掃や除草を行い、集いと憩いの場として維持管理されています。



【南久宝寺1丁目第2公園】
今年4月に新たに開園し、多くの子ども達の遊び場になっています。以降、町会の各班の皆さんが、月々交替で清掃や除草などの作業を行い、地域の憩いと集いの場として維持管理されています。



【北府住の花壇】
有志の方々が、毎週水・土曜日に花壇の手入れをされ、花やみどりが来る人々を出迎え、道行く皆さんの目を楽しませています。



【アドプト・ロード活動が受賞】
この8月、「本町3町会・府立八尾高等学校アドプト・ロード」の取り組みが、大阪府道路協会から表彰されました。これは、本町3町会と八尾高校が協働で、新興橋から八尾高前交差点間の府道沿い歩道の10年間を超える清掃・除草や低木の剪定作業などの活動が認められたものです。



【本町1町会のまちかど】
本町1町会の有志の皆さんが、それぞれの身近なまちかどにプランターを設置し、季節の花々の植え替えや水やりなどの手入れをし、道行く皆さんの目を楽しませています。右の写真は、そのプランターの準備作業風景です。



・出演にいたるまで、久宝寺づくりの秋のおまつり」です。3年間は開催を断念せざるをとなりました。

・来場者でにぎわいました。

・のい演芸会」

・学校の子ども達が、ダンスや吹

・また、先生方による演奏、地域

・や演奏など、日頃の練習や活動

・た。

・かき氷・焼きそばなどの飲

・このコーナーやスーパーパー

・北館では、「愛の献血」、クラフ

・がありました。

・後、この「おまつり」が、

・の機会、楽しい思い出の場と

・大してまいります。

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・



46回市民スポーツ祭の結果
(地区対抗・団体競技順位) 〈敬称略〉

1 位	2 位	3 位	4 位
高砂	東	南二 A	老松
高砂 A	高砂 B	リーデンス	南二 B
久宝寺男子ソフトボール保護者	消防団	来賓	――



さまはもとより、献血を目的に来場された方々も多く、会場受付には、「献血会場は、どこですか？」とのお問い合わせがありました。



今回、献血を受け付けた方は54名で、実際に採血いただいた方は、42名になりました。
血液比重などの関係から、採血できなかった方をはじめ、今回献血にご協力いただいた皆さまには、本当にありがとうございました。

♡お互いに支え合い・助け合うまちづくりをめざして

「まち協コーナー」でアンケートを実施!

「好きやねん久宝寺まつり」のグラウンドに、「まち協コーナー」を開設しました。

来場の皆さんに「綿菓子」でもおてなしをすることにも、「地域ボランティア活動」と「町会」についてのアンケートを実施し、お立ち寄りの95人の皆さんから回答をいただきました。(設問により無回答あり)

(1) 地域活動にボランティアとしての参加は?

参加したことがある…39人

(2) 機会があれば参加したい…46人

どのような活動に参加したいですか?

スポーツでの参加…39人 子ども支援…27人

高齢者支援…3人 見守り・パトロール…19人

(3) 参加しにくい理由は?

興味が無い…0人 きつかけがない…11人

(4) 行事や活動を知らない…13人

時間的に余裕がない…30人 付合いが苦手…5人

必要に思う…77人

必要に思う…7人

(5) 必要と思う理由は?

近所との関わり…42人

清掃・美化活動…22人

多くの方々が、地域活動に関心をもちの半面、行事や活動を知らない方も多く、今後の周知方法やたらきかけの工夫の必要性が浮き彫りと



大人と一緒に清掃すること、絆を深めると共に、地域に、久宝寺中学校・久宝寺自治振興委員会が実施した。昨年のこの活動は猛暑の時期を早めての清掃日になった。久宝寺の15の地点周辺で

♡「中環」をきれいに

久宝寺の西を走る「大阪

は、大阪の産業・経済を支

役割を担っています。

ポイ捨てなどによる沿

た昭和60年に「中環をきれ

以降、美化啓発活動の一環

が実施されています。

今年も、9月20日(水)10

差点から神武交差点の歩道

催で、近在の久宝寺地区福

委員会と関係団体が協力、

当日は、残暑の厳しい日

加者があり、皆さんは汗を

や植え込みの除草などの清

環境美化はもとより、近

のひと時になりました。



道所である喜びを学ぶことと、協議会と地区青少年育成PTAの主催のもと、久宝寺として開催しました。

から12時過ぎまで、195名の切り身体を動かし、満面の笑顔を楽しましました。

コロナ禍の中、マスク越しの笑顔しか見たことがなかった保護者の皆さんも、素顔の子ども達の笑顔をみることで、一緒に笑顔になられていたのが印象的でした。

この大会を通して、改めて子ども達が集まり、一生懸命に取り組むことにより生み出される「笑顔」の大切さを感じることができた一日になりました。

うらやまっみてたよ！

連絡協議会会長 伊原 克彦「」は、猛暑と感染症に気をとるという視点を取り入れ、8月(日)にかけて久宝寺小学校で大人を含めて50名、宿泊しました。

り、カレー作り、飯盒炊飯にのものと、「水のろ過装置」を組んでいる子ども達の姿が、いヤーや花火、また、保護者使って苦心して作られた「お



青少年の健全な育成は、大人の責務といえます。地域社会でも、私たち一人ひとりの規範意識を高め、日常的なふれあひを通じて、地域ぐるみで子ども達を育成していく良い環境をつくっていかねければなりません。

7月は、「社会を明るくする運動」の強調月間で、7月3日(月)には、久宝寺地区福祉委員会の関係団体有



志の皆さんが、久宝寺中学校・久宝寺小学校の各正門付近で、登校する子ども達の見守りと声かけを行いました。

7時30分から一時間余りの短い時間でしたが、子ども達と朝の挨拶を交わし合いい、地域のみんなが子ども達を見守り、子ども達にも自分たちが見守られていることを実感してもらえ、ひと時になりました。

◇清々しい朝のスタート！

「お早うございます！ 気をつけて行きやあ！」

久宝寺地区では、小学校や中学校の通学路の要所で「見守り活動」を実施しています。

毎朝、小中学生の登校時間帯に合わせて、自治振興委員会を中心に地域の有志の方が活動を始め、現在では、団体の枠を超えて様々な方々が活動に参加し、約30名の皆さんが「朝の地域安全見守り隊」として精力的に活動しています。

6月9日(金)には、日頃の活動を踏まえて、情報交換・共有と困りごとの解決を図り、より活発でさらに輪を広げることをめざして、意見交換会を行いました。

意見交換会では、「長年続けてきて、ドライバーのマナーが良くなったと感じる。」「挨拶を返してくれるなど小学生の礼儀が良くなった。」「自転車の運転マナーが悪い。」「雨の日は、広がって歩くので注意が必要だ。」などの感想や意見がありました。



き近まれたなどの問題がクローズアップされており、地域や家庭で子ども達を見守ることの大切さは、今までにも増して高くなっています。

子ども達の夏休みを間近にした7月7日(金)夜7時30分から、久宝寺小学校多目的室をお借りして、「スマホ時代の子どもたちに大人ができること」をテーマに、八尾市消費生活相談センター消費生活相談員 中野賀予子先生を講師にお招きして、「住民懇談会」を開催しました。

・契約とクーリングオフ制度
・サイトブロックとフィルタリングの活用法
・オンラインゲームの情報登録と課金などの注意点
・スマホの貸し借りの注意点
・掲載など、情報を公開するときの注意点
・文字だけのコミュニケーションの難しさと、インターネットにのせたら消えないことなど
について、事例を交えてお話をいただきました。
中でも、情報モラル教育では、家庭での会話が大切であり、「事情も聞かずにおこらない」「心配しすぎて大騒ぎしない」「なんでも勝手に決めない」ことをポイントに、お互いの意見や話に耳と心を傾けて聴き、お互いの理解を深め、



良き相談相手になることが大切なこと、そして、困ったときには、消費生活センター(TEL188)に相談することを強調されていました。
SNS社会になり、今や子ども達の方が詳しいとの視点から、一緒に問題に取り組むことの大切さを学んだ懇談会になりました。

♡笑って健康に！「お笑いカフェ」開催

ほっとステーション実行委員会 渕 孝治

「お笑いカフェ」は、吉本興業㈱の大阪住みます芸人で漫才コンビSPANN!(みずもとさん・マコトさん)の水本さん(*やおプロ係長)から、歴史ある久



町会行事の紹介

♡リスタート！「リーダーズ」

リーダーズ町会は、JPNマンション「リーダーズ」世帯で構成する町会で、平地区でも新しい町会です。いざというときはもちろん、いざというところにするために、「お」とひととの絆を深め、支えていきたいとの想いを込めて、9月18日(月祝)には、有志の皆さんのお世話で、きた「リーダーズまつり」今回は、「リスタート」テーマに、マンションの集を会場として、一部・一部では、ポテト・フラミ物、ゲームやスパーボ

